東部ブロック

足立、荒川、葛飾
台東

荒川

産業民主化の前進

事業所との関係作りを

挨拶する津田委員長

【荒川・書記・船橋賢一記】4月12日、荒川支部第72回定期大会が支部会館で開催されました。コロナの影響もあって、各分会からの参加代議員を1人に絞り、参加者は22人（うち書記局3人）でした。

その後、津田委員長が支部を代表して、「コロナの影響で今大会はこういう形での開催になってしまいましたが、組織拡大や後継者育成など課題は山積しています。ぜひ、十分な論議をお願いし、大会後の運動に生かしていきましょう」と挨拶しました。

続いて、姫路書記長から昨年度の運動の総括と今年度の運動方針案の提案があり、なかでも、組織の拡大、群と分会の強化、後継者育成、事業所との関係づくり、資本・町場従事者の組織化、産業民主化の前進について強調しました。その後、運動の総括と財政報告、運動方針と予算案はそれぞれ代議員の拍手で承認されました。

新4役は以下の通り。委員長・津田宗久。副委員長・五箇谷日出雄、薄井章、増山國吉、井澤力。書記長・姫路直樹。書記次長・船橋賢一、吉田和馬。

葛飾

分会の再編成を

新委員長に及川さん

退任した阿久津前委員長（右）他の皆さんに花束

【葛飾・書記・小藤隆之通信員】4月12日、葛飾支部第67回定期大会を葛飾支部会館で開催しました。参加者は、支部4役・常任・本部来賓・役員立候補者の17人。新型コロナウイルス対策のため、参加者を限定し短時間（午前中）の開催となりました。

大会では、①分会組織の再編成および支部・分会・群の役員体制の確立、②組織実増に向けた拡大行動の推進、③公契約条例の実現、災害協定の具体化、支部まちづくりセンターの充実の3つを大きな柱として新年度運動を進めていくことを決議しました。特に公契約条例制定に向けては、昨年区議会与党の自由民主党議員団を交えての学習会の初開催を進めるなど大きく動き出したことを踏まえて、運動を進めていきます。

新4役は次の通り。委員長・及川光太郎。副委員長・益子栄治、千葉修央、土屋忍。書記長・小藤隆之。書記次長・山屋英、深谷隆行。

足立

未来ある建設業に

3つの特別報告も行なう

【足立・書記・浪江紀之通信員】4月9日、足立支部会館にて「第67回足立支部定期大会」を、総勢62人の仲間の参加で開催しました。

参加者による活発な討論が行なわれ、2020年度は「後継者の課題克服と組織拡大を押し進めて、安定的な支部・分会運営を基礎に建設職人の処遇改善と賃金単価の引き上げを実現し、未来ある建設業界を展望しよう！」をメインスローガンに、運動を展開していくことが決まりました。

特別報告では3つの報告が行なわれました。①水越青年部長より「支部主催釣り大会」について②秋山職域対策部長より「小規模工事契約希望者登録の取り組み」について③井出女性の会会長より「あだち女性の会の2019年度の活動」について、それぞれ報告があり、先進的な取り組みとその結果に参加者は皆真剣に聞き入りました。

すべての大会議事が承認され「より良い実りある1年にしよう」と全員意思統一。最後はガンバロー三唱。一致団結をして閉会となりました。

新4役は次の通り。委員長・武藤彰。副委員長・村上勇、波平永、真木泰久、林致寛、小野清。書記長・早川勝久。書記次長・本多伸行、大久保努、栗原知也、松井良典。

台東

遠藤委員長が挨拶で

組合員の思い代弁

【台東・書記・佐藤文哉通信員】台東支部第63回定期大会が4月12日、支部会館にて開催されました。代議員定数30人に対し、出席者14人、事前に不参加表明をいただいていた方の15通の委任状により、定数の過半数を超え、大会は成立しました。

冒頭、遠藤委員長からの挨拶で縮小開催となった経緯報告があり「1日でも早い収束を心より願う」との組合員の気持ちを代弁する発言がありました。

次に松村書記長からの運動方針提案、福田副委員長から会計監査報告と新年度予算案の提案がありました。全体を通して質疑応答の後、寺山副委員長が大会宣言を提案し、代議員の拍手をもって採択され、大会のメインスローガンを読み上げました。

新4役は、以下のとおりです。委員長・遠藤秀明。副委員長・齋藤誠、寺山邦裕。書記長・松村健司。書記次長・小久保篤。

多摩東ブロック

三鷹武蔵野、狛江、調布

狛江

1500人回復を

CCUS充実、公契約も

住宅デー会場コンテストで最優秀となり、宗像委員長（左）から表彰される岩戸南第2分会の仲間

【狛江・書記・牧岡善隆記】狛江支部では、4月12日、支部会館において、第50回定期大会を開催し、全体で56人（来賓1人、代議員22人、特別代議員1人、委任状32通）の参加があり、来賓として、本部松広常任が見えました。

本来なら、組織や財政課題、建設業をとりまく厳しい情勢などを議論しあい、分散会なども通して率直な意見などの集約もしたかったところですが、人命第一を考え、組織としては早急に1500人現勢を回復する、産業対策部門は、キャリアアップシステムの充実や公契約条例の制定など、目標立てを明確にし、詳細を新年度の機関会議や専門部会議での討議に換えていくことで意思統一し、すべての議案、役員、予算などを承認し、終了となりました。

新4役員は以下の通り。委員長・宗像勇。副委員長・塩野昌一、田波和也、中村剛。書記長・牧岡善隆。

調布

連続増勢を確信に

次世代の活動参加拡大も

あいさつする佐藤委員長

【調布・書記・山本晃通信員】第59回調布支部定期大会が4月5日、調布支部会館2階にて午前9時15分から規模を縮小して代議員総数45人で開催されました。

佐藤員理子委員長より挨拶として、2019年度の運動の到達として、7年連続で組織増勢を達成し大会を266人で迎えられた喜びとともに次世代の担い手である若年・後継者世代のさらなる組合活動への参加拡大への一層の理解と協力を求めました。

そして土建「綱領」を運動の基本に組織を強化し、「働く仲間」の仕事と暮らしを守るための要求運動の強化、新型コロナウイルス問題の難局もまた、乗り越えていこうと呼びかけられました。

新4役は次の通り。委員長・佐藤員理子。副委員長・横山秀夫、川口敏彦、冨士勲、粕谷武洋。書記長・北村享一。書記次長・山本晃、井上裕行。

三鷹武蔵野

組織拡大強化を柱

組合員、家族の生活守る

【三鷹武蔵野・書記・奥村研一通信員】4月5日、三鷹武蔵野支部会館において、三鷹武蔵野支部第6回定期大会を開催しました。

全体会では、佐々木建書記次長から基調報告、渡邊和彦副委員長から方針提案を行ないました。

基調報告では、各分野の取り組み経過や平和を守る取り組み、台風被害に対する取り組みや地域運動など今後の課題について強調したものとなりました。

また方針提案では、組織拡大強化の課題を柱に、組合員と家族のくらしを守る産業対策・社会保障対策など、各分野の諸課題を提案しました。

新4役は以下のとおりです。委員長・金子昭二。副委員長・高橋公二、島村新、渡辺義久。書記長・渡邊和彦。書記次長・佐々木建、荒木大輔、永原蔵人。